

16春闘勝利に向けて⑤

4年連続、実質賃金が低下 (2015年度速報)

パート労働者・非正規労働者の増大が原因？

…大企業正社員と賃金格差が更に拡大している現実！

2月8日、厚生労働省が発表した毎月勤労統計調査によると、2015年度の労働者一人当たりの給与について名目賃金は前年より0.1%増えたものの、それを上回る物価上昇（たった1%）によって実質賃金は0.9%減となり、4年連続して減少したことをマスコミは一斉に大きく報じた。

第二次安倍政権発足以降、消費税を8%に引き上げたこともあり、4年連続して低下が続いていることになる。厚労省の解説によるとパート労働者の増加が平均賃金の足を引っ張っているため、名目賃金の上昇にもかかわらず、実質賃金が追いついていないとしている。大企業正社員の賃金は上昇したが非正規労働者の賃金は殆ど上がらず、労働者全体の平均賃金は物価上昇分にも届かなかったというのである。

安倍首相が「アベノミクス」と自画自賛しながら、日銀を通して異例の金融緩和を実行させて円安・株高を煽り、官製春闘として経団連に要請して賃金引き上げを実現(?)させてみたもののアベノミクスの「現実」が上記数字である。即ち、円安株高は大企業に未曾有の為替利益をもたらした、大企業正社員労働者には2.38%の賃上げと巨額一時金をもたらした。しかし、中小・零細企業は円高によって原材料が高騰し、大企業からはコスト引き下げを強要されて、労働者の賃金引き上げに回す利益は全く確保することができなかったことである。そして有効求人倍率が大きく改善したと言うものの、労働者は非正規と追いやられ、パート路など非正規労働者の増大し、賃上げがあったとしても雀の涙ほどであり、当然、一時金の恩恵とは無縁であり続けているのである。実質賃金の低下が続く状況とは大企業正社員と中小企業労働者、非正規労働者との賃金格差が益々拡大している現状を冷徹に数字が示しているのである。

安倍首相はアベノミクスによってトリクルダウンが起こり、大企業の利益拡大は中小零細、非正規労働者にも恩恵がもたらされると言ってきた。結果は労働者

間の格差は一層広がり、一部の富裕層と大企業ばかりが恩恵に浴したことを如実に示している。そしていま、政府や中央銀行が為替や株式市場に直接介入する異常さは世界的に原油安や不透明な経済危機を招き同時株安を引き起こしている。アベノミクスは完全に破綻した。にもかかわらず、再び「マイナス金利」という奇策を用いて目先を変え、経済不安を覆い隠そうとしているが、その効果は全くなく、株式の下落は続き、円高にもなろうとしている。

こうした状況の下で16春闘は安倍首相による鶴の一声や官製春闘によって賃上げが実現するはずもないのである。

労働者の生活は厳しさを増している。私達の生活は闘いによってしか守ることはできない。非正規労働者と共同した闘いこそ求められているのである。スト権をしっかりと確立し、16春闘勝利に向けて全ての力を集め、闘っていこう。

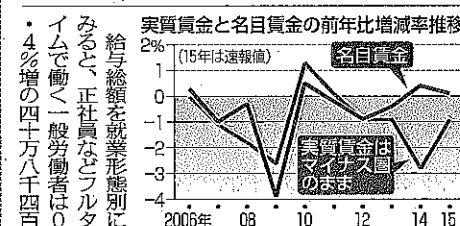
東京新聞2016年2月8日（夕）

生活苦しいまま

実質賃金4年連続下げ

昨年0.9%減

厚生労働省が8日発表した毎月勤労統計調査（速報）によると、一〇一五年の働く一人当たりの給与総額（名目賃金）は月平均三十二万三千八百五十六円で、前年より0.1%増えた。増加は二年連続。ただ物価上昇の方が大きかったため、物価の影響を考慮した実質賃金は0.9%減で、四年連続のマイナスだった。



働く人全体の給与の内訳は、基本給などの所定内給与は0.3%増の二十二万九千七百十二円で、十年ぶりに増加。残業代などの所定外給与は0.4%増の一万九千五百八十六円、ボーナスなど特別に支払われた給与は0.8%減の五万四千五百五十八円だった。同時に発表した一五年十二月の給与総額は前年同月と比べ0.1%増の五十四万四千九百九十三円だった。実質賃金は0.1%減だった。

増税、円安…ベア帳消し

毎月勤労統計調査（速報）の一〇一五年の実質賃金指数は前年比0.9%減となった。「基本給の増額は少し上がったが、物価がそれ以上に上がり、生活は苦しいまま」。これが調査が示す国民の実感だ。しかも実質賃金のマイナスは四年連続。このうち三年間は安倍政権の経済政策、アベノミクスが押し進められてきた期間と一致する。統計は、アベノミクスは物価を押し上げ

ることは成功したが、国民生活が一五年の実質賃金指数は前年比0.9%減となった。一方一四年四月には消費税増税があり、金融緩和に伴う円安で輸入物価は上昇。食料や生活必需品の価格は上がった。一四年夏に始まった原油価格の大幅下落がなければ物価はもっと上がっていたはず。政府主導のベアは、これらの物価の伸びには追いつかず、多くの国民は給与増を実感できていない。

(山口哲人)